

ほほえみ通信

グループホームくりの 第19号

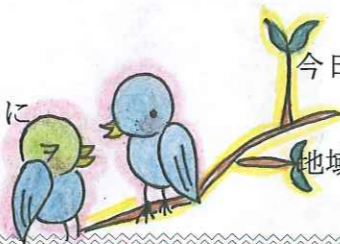
始良郡湧水町米永 181-1 平成 23 年 4 月発行

基本理念

このホームが あなたにとって
最高の我が家となりますように
私たちがあなたにとって
真の家族となりますように

活動目標

今日も一日 笑顔で
ありがとうの心が通い合う
地域社会の人々と共に
楽しい暮らしを目指します



年度初めにあって・・・

東日本大震災の被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。数多くの介護施設も被害を受け、自分の家庭も顧みず、職員が介護を続ける姿に感動致しました。当社も、又 職員もささやかではありますが、義援金を送らせて頂きました。当ホームも開設以来、今年8月1日をもちまして7年目を迎えます。より充実した、また質の高い介護を目指して、スタッフと共に勉強して参りたいと思っております。一層のご支援ご指導を、よろしくお願い申し上げます。



竹下 和子



病院勤めを退職した頃“やがては、一人暮らしではなく、みんなで寄り集まって暮らしたいね”と友人と雑談した事を、今 思い出されます。
再就職が、グループホームという私の理想とする雰囲気の中で働くことができ、とてもうれしく思っています。
経験上、病院や施設との違いに気付かされます。
グループホームとは、利用者の方々の生活の場だからです。ただ、お一人お一人が、今までりっぱに生活できていたことが、少しずつ、ゆっくりと出来なくなっていくことへの不安を抱えながら毎日を送っておられます。それを、心も身体も支えていくことが、私達の使命です。私達スタッフは、入居者の皆様が毎日を穏やかに 笑顔で過ごして頂けるよう常に寄り添う介助をしています。

スタッフのひとこと



亀沢 ノリエ

入浴、食事など生活の行動的な介助は、あたりまえの就労ではありますが、大切なことは、ホームの理念に基づき、家族となり、我が家となるように、毎月の誕生会、季節の色々な行事を通して、自然の移り変わりを肌を感じる、活気のある触合いを保つことに、心がけています。

私達にとっては、大先輩の入居者の皆様方と「あの頃は・・・」と昔話を話される時の生々とした表情や笑顔を通して、これまでのご苦勞や喜びや悲しみにふれ、感動したり、元気ももらったりしています。このような仕事をさせてもらうことを、入居者の皆様方お一人お一人に日々、感謝しております。



ゲーム遊び

まだまた若いモンには負けません!!



ちゃんとお化粧します見習わないと!!



毎日ピカピカにお掃除



豆まき



鬼と仲良くなったらいけません!



ひなまつり



「うんまがな」「うん……」

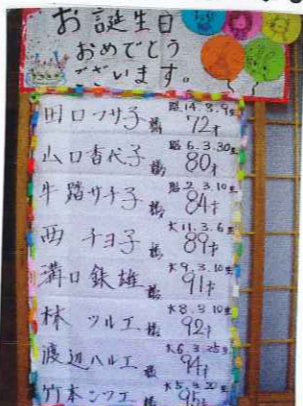


おごそかな雰囲気です?



おめでとう 誕生日会

誕生日会



2月は宗 キエ様
3月は総勢8名
4月は鎌田千恵子様
が誕生日を迎え
られました。

研修を受けて

濱田 大和

4月4日、5日と熊本で研修を受けさせていただきました。研修を受ける前までは、どんな内容だろうかと不安でした。しかし、研修を受け終わってからは、受けて良かったと思いました。
自分あまり人前で意見を言ったりするのが得意ではありませんでしたが、でも研修を受けているときから、自ら手を挙げ意見が言えるようになっていました。自分でも変化があったと感じることが出来ました。



まだまだ自分は人生経験も少なく未熟者ですが、仕事での職務はリーダー役を任されているので、スタッフの皆をうまくまとめられるようになりたいと思います。また、社長もそうであって欲しいという気持ちがあって、研修に参加させてくださったと思いますので、その期待にしっかりと答えられるように、より良いホーム造りに頑張っていきたいと思います。



当日のランチ